



2006年5月19日

Trent 900 エンジン搭載 A380 がロンドン・ヒースロー空港に飛来 ～ 欧州の空港では初めて ～

【英国 2006 年 5 月 18 日】 民間航空、防衛航空、船舶、エネルギー各分野の世界市場において事業展開するロールス・ロイス社（本社：英国ロンドン、CEO:サー・ジョン・ローズ、以下「ロールス・ロイス」）は、ローンチ・エンジンとして Trent 900 エンジンが搭載されるエアバス A380 がロンドン・ヒースロー空港に飛来したことを発表しました。

Trent 900 は、4 機の A380 に唯一のテスト・エンジンとして搭載されテストが行われている。A380 のローンチ・カスタマー シンガポール航空も Trent 900 を選定しており、納入は今年末から開始されます。

Trent 900 エンジンは、世界で最もクリーンな大型ターボファン・エンジンで、離陸時の推進力は 8 万ポンド、4 基の Trent 900 エンジンの出力は合計すると乗用車 3,500 台分を超えるパワーを持っています。チタン製の空洞ファンブレードにより吸引される空気は 1 秒間に 1 トンにも値するも、騒音に関しては、ヒースロー空港の基準 QC2 に適合しており、現在、運航中の大型民間機よりもはるかに低いという特性を有しています。

Trent 900 エンジンのテスト飛行時間は、1 年間で累計 11,000 時間を超えており、ローンチカスタマー機で 5 月 7 日に最初のテストフライトを成功させています。Trent 900 エンジン搭載機は、コロンビアの高地離陸テスト、北カナダにおける寒冷地始動テストなど、殆どの重要な飛行テストを完了しており、今後は、世界各地の飛行ショーにおいてお披露目の飛行が行われる予定です。

ロールス・ロイスの民間航空部門の社長マイク・テレット（Mike Terrett）は、次のように述べています。「Trent 900 エンジンの開発は、当初から計画通りに進行しています。今後も我々はエアバス社にご満足頂けるよう、今年後半の就航に向けて全力であたる所存です。」

現在、11 社の航空会社が A380 のカスタマーであり、そのうち 7 社が Trent 900 エンジンを選定しています。内訳は、シンガポール航空、ルフトハンザドイツ航空、マレーシア航空、カンタスオーストラリア航空、ヴァージンアトランティック航空、エティハ航空、中国南方航空となります。確定およびオプション合わせて 90 機の A380 型機にロールス・ロイス製 Trent エンジンが搭載されることになっており、マーケット・シェアは 54%に到達しています。

以上

ご参考

1. **Trent 900** エンジンの初運転は予定通り 2003 年 3 月に行われました。その後、エアバス **A340-300** 機をフライング・テスト・ベッドとして 2004 年 5 月に初飛行試験が行われ、60 時間のテスト・プログラムを完了しました。2004 年 10 月にはエンジンの認証を取得しています。最初のトレント・エンジン・ファミリーが 1995 年に登場してから、**Trent 900** エンジンは 4 番目の製品となります。
2. **Trent 900** エンジン・プログラムには、リスク収益分担パートナー (RRSP) として、次の 7 社が参加しています。丸紅株式会社、Avio 社、Volvo Aero 社、Goodrich Corporation、Hamilton Sundstrand Corporation、Honeywell 社、Industria de Turbo Propulsores 社です。また、川崎重工業、石川島播磨重工業、サムスン・テクウィン (Samung Techwin) は協力会社として参加しています。